



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226



安城デンパーク

撮影 斎藤 充昭

賀正

理事長 村上 章



新世紀の輝かしい新春を御家族様お揃いでお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、組合事業の運営に格別のご理解とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。本年も相変わりにませず宜しく御指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、北は北海道の有珠山の噴火・伊豆諸島の三宅島の火山活動による全島民の避難、また当地では九月十一・十二日の東海豪雨による被災・中国地方の大地震等々、日本列島が天変地異に揺れ動いた一年でした。

東海豪雨で被災されました多数の組合員様には、心からお見舞い申し上げます。

この様な世相ではありませんが、当組合に於いては全板連・日板協が提唱しております保証事業・リニューアル事業を踏まえ、保証委員会と技術研究委員会が合同で講習会



を開催し多数の方々のご参加を得、予想以上の成果を上げることができ、初期の目的達成に進んでおります。又、全板連・日板協の指導方針事業の一つであります太陽光発電システム開発を新たに立ち上げ、この目的達成を図るために太陽光発電事業特別委員会を設け、昨年十月一日に第一回の講習会を終了致しました。第二回は、三月と四月にそれぞれ二日間、実技と学科の講習を予定しており、講師陣の充実を図っております。多数のご参加を期待しております。

昨今の全般的に減少しております工事量を補うために、リニューアル工事を手掛けて直接営業を行い、少しでも売り上げ増に繋げるべく努力をすることも大切なことです。

さて、建設業も淘汰の時代に突入しました。全国で六十万社あると聞いておりますが、この内で約十萬社が休眠会社とか言われております。何れにしても、大競争とイノベーション時代を迎え、我々はどう対処すべきか重大な転換期に差し掛かって来ます。こうした折りに、建設省に於いては、昨年七月に専門工事業イノベーション戦略とし

て指針を発表され、全国に啓蒙を図るべくキャンペーンを実施中であります。

中部地区に於いても研修会がもたれ、昨年十一月十三日名古屋駅前の特約ホールに於いて約二百五十名が参集し、建設省の審議官尾身博武様・室井俊一課長補佐をはじめ建設省中部建設局企画部技術調整管理官・奥田一己様のご臨席され、主旨のご説明及び質疑応答が行われました。主として、

- ① 多様な建設生産管理システムの形成
- ② 経営力・施工力の強化
- ③ 元請け・下請けのパートナーシップの構築

④ 人材の確保と育成

以上の四項目でした。私も中板協・日板協・愛知県板の一員として参加し、要望事項として、人材の育成と、元請け・下請けの受発注の改善について、並びに諸々の事について要望の趣旨を申し上げました。今後共、じっくり根気に根強く要望を進めたいと思っております。

ところで当中部圏に於いては、大きいプロジェクトが動き出しました。愛知万博とそれに伴う国際ハブ空港の建設がそれでありませう。クリーンな地球環境・住み良い生活環境をテーマとし、動物保護のため規模の縮小を余儀なくさう形となりましたが、漸く世界万博事務局の認可が下り、

先行きが見えてきました。神田知事もホット胸をなで下ろしておられるとか……。

一方、地元での盛り上がる力が欠けているとか、活気・活力が無いとか種々批判されていますが、決まった事については県民が歩調を合わせて邁進すべきかと存じます。又同時に常滑沖にできる国際ハブ空港も漸く軌道に乗り、工事が着工され、開港日時に間に合うように植音が聞こえることとなるでしょう。

これからは、中部圏の時代が訪れようとしています。道路整備は勿論、第二東名と東北陸自動車道も開通に向かって進んでおります。大いに経済面に寄与することと思われませう。私たち建設関連業者もこれに備えて施行管理・技能・安全とあらゆる面で勉強しなければならぬ時を迎えます。

「二十一世紀の幕開けは、中部圏から」を合い言葉に、心新たに平常心を持って事に当たり、消費は美德のアメリカ型を捨て、伝統と文化を護り物作りの原点を忘れることなく、自己責任に於いて取り組みIT大革命の世紀に羽ばたきましよう。

結びになりましたが愛知県板金工業組合の更なる発展と組合員各位のご健勝と、各事業所の御繁栄を記念申し上げます。まして新年のご挨拶と致します。

目的の達成は

強固な仲間づくりから

副理事長 齋藤 充昭



あけまして

おめでとう御座います。皆様には二十一世紀の新春をご家族一同様お揃いでお迎えることと心よりお慶び申し上げます。

相変わらず景気の低迷が続いています。昨今、幾らか明るさが戻りつつあると言われますが、これも企業がリストラ等で身軽になっただけで、失業者は増え景気のパロメーターである消費指数は下がる一方で回復基調など机上の空論でしかありません。ただベンチャー企業や先端産業が好調な以外は回復傾向にはほど遠いのが現状です。

昨秋行われた「建設産業専門団体協議会」(躯体・仕上設備・等関係四二団体加盟)の専門工事業イノベーション戦略」研究会では、建設省の担当官に対し、どの業界もぎ

りぎりの所まで追い込まれている窮状と、横暴なゼネコンの体質を改善させる指導を強める要望が相次ぎました。

また一〇%台に落ち込んだ内閣支持率をめぐり、首相不信任案の取扱いにおける与党派閥のどたばた劇は、改革を望んだ国民の期待を裏切った

結果に政治不審はつのる一方です。まして景気回復には公共事業が最優先とばかり、旧態依然の公共事業を大義名分に赤字国債発行で起こる膨大な負債は国民の生活に重くのしかかります。あえて景気回復策に公共事業を唱えるなら

大手企業が対象ではなく、中小零細業者が直接潤うような公共事業が望まれます。

昨年末の住宅着工件数はそれまでの一〇%以上減少しています。大規模工事にしても「仕事はあるが利益が無い」の声は共通しています。

これからの建設関連の工事は好況時に比べ六〇%前後で推移すると予想されます。「今に良くなる」と好況時のような成果を期待できる甘



い世相ではありません。

むしろ工事業の減少による過当競争により淘汰されない様、自分達の城は自分達の結束で守り抜く強い仲間意識が必要で。近年、ゼネコンやハウスメーカー等の発注形態が安値で板金技術だけを利用する「労務提供型」に変化しつつあります。建設業界は各専門技術者が技能を駆使し合って適性価格・適性利益で建物を完成させる、やりがいのある業界でした。しかし近年、屋根・壁・雨樋などをまとめて受注するブローカーやアウトサイダーの出現により

本来の元請↓専門工事業者の構図から、元請↓ブローカー↓専門工事業者の形が増えていることは憂慮すべき現象です。

素人まがいの業者を排除し本来の正しい受注に戻すため、また、自分達の地位とゆとり

の生活向上のために、今年こそ板金業界の重点事業である「責任施工保証事業」を真剣に考える時です。

愛知県板には「保証制度適

用の店」が四五五社登録されています。十二年度は保証書の申請が飛躍的に伸びていますが、一度でも保証書申請をした適用店は三十数社に限られています。みんなで取り組めば必ず効果が出てきますし、お施主からの口込みも増えて来ます。事ある毎に我々板金専門工事業者の優秀な責任施

年賀

副理事長 長谷川 信俊



工と十年の保証をPRしましょう。そして地域に密着した保証事業にリフォームや太陽光発電事業も取り入れたグループ活動を協力に進めましょう。「グループ化は成功の早道」本年も皆さんのご健勝とご繁栄を心から祈念致します。

遠い未来にも思えた二十一世紀を迎え、大きな節目の輝かしい新年をご家族一同様お揃いで迎えられ心からお慶び申し上げます。

世紀の変わり目という激流の中で、時代の変化は日進月歩ならぬ分進日歩。バブル崩壊後失われた十年の中で停滞しているうちに新世紀を迎え、厳しい経済環境は常態化し今は全てが不確実の時代です。今までの日本では考えられなかったデパート、保険会社の倒産や企業間の再編は今や

組合においてもリフォームや太陽光発電など新しく取り入れ組合員の皆様に講習会に積極的に参加していただき、全板連、県板の重点事業である保証制度の活用をお願いしています。

昨年全板横浜大会は愛知県板から二〇〇余名の参加、誠にありがとうございました。あいにくの天候と相次ぐ事故が重なり更に当日出発のため大会に間に合いませんでした。今年の第五十三回神戸大会は六月十二、十三日神戸コンベンションセンターにて予定されています。前年の横浜大会を教訓に県板コースでは前日出発で翌日、大会参加の一泊二日の行程で計画しています。各支部長を通じ大勢の組合員、ご家族、従業員の方々の参加をお待ちしています。私事ですが平成十二年十一月十四日東京クラブにて認定職業訓練功労者表彰を授かり誠にありがとうございました。永年、板金組合、訓練協会、問屋会等関係業界の方々の支えで受賞でき心から感謝申し上げます。これからも村上理事長、羽柴協会長はじめ諸先輩のご指導よろしくお願ひ申し上げます。

新しい年の始め皆様方のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。念頭のご挨拶とさせていただきます。



あけましておめでとう

ごさいます



副理事長 高柳 一男

愛板組合員のみなさん、あけましておめでとうございませう。

昨年は、基幹技能士の講習に明け、ソーラー屋根材の基礎講習、そして保証事業の講習会と、時代の大きな変化の中で重要な講習がありました。

本年はソーラーの施工技術講習を計画、三月、四月に実行いたします。大勢の人が受講してほしいと期待しています。

本年は我々にとってソーラー元年の年です。ソーラー、イコール環境問題です。仕事を

通じ環境問題にかかわり勉強することは大変有意義なことかと思ひます。地球を取り巻く環境を考え配慮できる企業

になるひとつのステップとして、ソーラーの屋根材があります。これからは環境を考え

地域に貢献できる企業となる

ことが大切なことと思ひます。また昨年四月に施行された

品確法は住宅産業界の中に大き

なインパクトをもたらしました。我々の行っている保証事業も昨年は受講者が増えましたが、保証物件数はうなぎのぼりに登録されています。仕事の品質を確保し、価格を安く

押さえ顧客に喜んでいただける住宅を提供できるよう頑張りたいと思ひます。一人でも

多くの組合員さんが十年保証の看板を上げ保証事業を利用して

今この時代はIT革命と言われて

迎えますが、この時代の大きな潮流でしょう。IT革命

に乗れた者と乗れない者との間に驚くべき大きな二極格差

の現象が始まると言われて

います。我々組合員各店社におかれましては、IT革命に乗

るべく気構えを持ち、挑戦していかなければ生き残ること

さえ難しくなるかもしれませ

言われているのでしょうか。IT革命、今後どう進むか予測

は出来ません。きっと想像以上のスピードで進むことでは

しょう。今までの仕事の中で役立つ

てきたファックス、携帯電話、パソコンは

はずいぶん重宝したことと思ひます。そしてこれ

からの本流は携帯パソコン

新年明けましておめでとう

ごさいます。21世紀という新しい時代

を迎え組合員方々のご健勝にて

新年を迎えられたこと心から

お慶び申し上げます。昨年

はコンピュターの二千年問題から始まり、

大手デパートの倒産など社会的不安

IT、デジタルテレビになるかもしれませぬ。

情報化の時代に早く慣れ親しむことが、二十一世紀を

迎えた今大切なことかなと思ひ

ます。最後に組合員各位の本年

のご活躍、ご健勝を祈念して新

年の御挨拶といたします。

謹んで新年のお祝いを申し上げますと共に、旧年中賜り

ました暖かいお引き立てとご

支援に對し、衷心より厚く御

礼申し上げます。昨年は二十世紀の幕が閉じ

られ、干支は「辰」で大きな

飛躍を期待した年でございます

ました。ミレニアムという言葉

最後にあります。新しい年の幕開けに当り会員の皆様

とご家族一同にとって最良の

せていただきます。

一年でありませぬことを祈念

いたしまして、新年の挨拶とさ

せていただきます。

にも私達は二十世紀末にいか

なる事態にも対応出来る学習

能力(知恵)を会得致しまし

た。景気の先行が定まらぬ中、

愛知万博、中部国際空港と二

つのビックプロジェクトが控

えており、日本文化の匠の知

恵とIT時代の斬新な技術に

より「二十一世紀の証」を

遺す絶好のチャンスとなっ

ています。

また、今後避けて通れない

ものとして地球との調和(環

境対策)がございます。この

業界にたずさわる以上、残材

廃材の処理が問われ分別、リ

サイクル化が益々強化される

ものと思われまふ。これまた

「我々の知恵」をもって地球

との共生が必要であります。

新春のご挨拶

日新総合建材株式会社名古屋支店

支店長 木 佐 伸二郎

新年明けましておめでとう

ごさいます。21世紀という新しい時代

を迎え組合員方々のご健勝にて

新年を迎えられたこと心から

お慶び申し上げます。昨年

はコンピュターの二千年問題から始まり、

大手デパートの倒産など社会的不安

身近では東海集中豪雨に代表

される様な自然災害に見舞わ

れた一年でした。経況感とし

ましては、IT関連を中心

に緩やかなる回復傾向にあると

報じられておりますが我々を

取りまく建築業界は厳しい状

況下にあるものと推察されま

す。しかしながら、21世紀中部

圏は愛知万博の開催、中部国

際空港の着工等での需要期待

と共に、これに伴う地球環境

目指されていることと存じ上

げます。今後の商売の一助に

と、弊社の開発重点商品とし

て太陽光発電一体型屋根商品

並びに耐汚染性光触媒焼付型

内外壁パネル商材を揃えお役

に立ちたい所存でございます。

迎える二十一世紀は「知恵

の時代」と言われております。

IT革命真只中の昨今、幸い

に於いて的確なる仕組みが構

築されず、家庭では親子関係

までが、すみ分け出来なくな

りました。

今年

の干支は「巳」でござ

います。古来より「脱皮しな

い巳は死ぬ」と言われていま

す。組合員の皆様共々「新世

紀の証」をクリエイトする

ため、日々健康に留意し大い

に脱皮しましょう。

今年

の干支は「巳」でござ

います。古来より「脱皮しな

い巳は死ぬ」と言われていま

す。組合員の皆様共々「新世

紀の証」をクリエイトする

新年のご挨拶



愛知県亜鉛鉄板問屋会

会長 加藤 芳文

新年あけましておめでと
うございます。

昨年は私共問屋会の会員が
大変お世話になりました。心
より御礼申し上げます。本年
もどうぞよろしくお願い申し
上げます。

さていよいよ二十一世紀を
むかえたわけですが、二十世
紀後半の負の処理がまだ
終わっておりません。バブル経
済崩壊以後の九十年代は『失
われた十年』と言われており
ます。構造改革が叫ばれなが
ら何もできずにただ負の処理
の為のばらまきの十年でし
た。そうこうするうちにわが
国の国際競争力はバブルの頃
の世界で一番から九十年代半
ばの十五番、そして今では二
十一番になってしまいました
た。このような中で日本経済
は今二極分化がはつきりとし
てきました。まず製造業は大
胆なリストラを終え国際競争
力の強いところのみが生き
残っている為、回復基調にあ
るが非製造業はまだまだ回復
基調に至っておりません。そし
て大企業と中小企業、都市と

地方も明暗を分けています。
従来はマクロの経済が良けれ
ばミクロの世界までいくらか
おす分けがありました。これ
からはそうはいきません。
現代では業種、業界で好不況
を判断するのではなく個々の
会社、企業で判断するべきと
言われております。いろいろ
ある中で一例をあげれば苦戦
しているアレル業界の中で
急成長しているユニクロがあ
ります。若者に大変支持され
ていると聞きますが、各店の
情報が瞬時に生産、仕入先の
中国に送られて市場のニーズ
が適確に反映されているとの
事です。私共もただ建設業界
が厳しい環境である事のみを
理由にせず、その中でも好業
績をあげられる手段を見出し
たいものです。

昨今住宅に関する保障、責
任施工が非常に重要な時期に
来ております。昨年、鳥取県
西部地震で規模の割りに倒壊
した家屋が少なかつた理由
は、雪が多く、なおかつ水分
の多い雪質に耐える長年の知
恵と、それをきちんと守って

責任施工した建設関係の人々
の努力の賜であります。今こ
そ組合員の皆様の長年培った
技術を發揮して頂く最高の時
です。幸いにも当地区には愛
知万博の開催、中部新空港の
建設等大きな事業が控えてお
ります。二十一世紀最初の年

新年のご挨拶

東洋化学株式会社 名古屋支店

支店長 長塚 治 興

皆様、新年明けましておめ
でとございます。

日頃は、当社のトヨ雨どい
を始め建材商品をご愛顧い
ただき誠に有難く厚く御礼申
し上げます。

さて、本年は二〇〇一年、
二十一世紀の幕明けの輝かし
い節目の年、組合員の皆様方
におかれましても、ご家族一
同様ご健勝にてお迎えのこと
と心よりお慶び申し上げます。
昨年はシドニーオリンピック
ク、アメリカ大統領選挙や三

宅島の大爆発や鳥取地震等、
いろいろな行事災害が発生し
し、話題のある一年であった
という感じがします。又、経
済に於きましても一昨年に引
続き金融ビッグバンによる大
銀行の合併及び流通、製造メー
カーの企業系列を超えての合

を組合員の皆様と知恵を出し
合い、協力しあって元気に乗
り切って行きたいと思ってお
ります。
最後になりましたが皆様方
のご健勝とご多幸を祈念致し
まして新年のご挨拶とさせて
頂きます。



併等々の大きな波紋が広がり
まさに激動の一年であったと
思います。

本年の見通しにつきましては
は、IT革命及含めた各種政
策効果の浸透による下支えや
一部に回復の兆しが見える民
間設備投資、企業収益を背景
として景気の底上げが期待さ
れますが、個人消費の低迷や
不安定な株価、為替動向もあ
り、回復を実感するには、な
お時間を要するものと思われ
ます。

一方、皆様方のご商売に直
接関係のある住宅業界の動向
ですが、昨年の新設住宅着工
数はマンションの増加はあり
ましたが百二十万戸弱と、前
年比五%減と言われておりま
す。今年度につきましても昨
年並との予測が出ており楽観

視出来ない状況であります。

幸いにも愛知県内では愛知万
博の開催、中部国際空港の着
工等の工事が今年度より本格
的に稼働する事、又リフォー
ム市場の開拓等住宅関連分野
の市場はまだまだ日本経済の
大きな柱といえます。

このような情勢下において
当社といたしましては、経営
資源を集中的かつ効果的に活
用して、当社の最重要商品で
ある雨どいを始め板金店様の
商品を広げられる新製品、新
技術の開発に積極的に取組ん
で行く所存でございます。

21世紀の新春を迎えて

東三ブロック

会長 二村 豊

明けましてお目出度う御座
居ます。輝かしい21世紀を初
日の出と共に迎えて、本年も
皆様にとりまして麗しき年にな
りますようお願い申し上げます。

さて、私達はこれからどの
ように対処すれば良いか、い
かに生き残るか、次なる戦略
を慎重に吟味する時代と心得
・行動を起こせば、おのず
と光が見えてくると思いま
す。めまぐるしく移り変わる時
流に逆うことなく、その時そ



謹賀新年

名古屋板金連合会

会長 鷲見 収



明けましておめでとう御座います。
昨年も多くの梶板事業ならびに名古屋板金連合会事業を皆さんの協力で計画通りに終えることが出来ました。

今年も例年通りに新年懇親会、新春板金セミナーや三月・四月にはソーラー実技講習会などが計画されています。名古屋板金連合会でも一月に新年安全祈願祭と新春板金セミナーの開催、二月に支部長会を開いて新年度の事業計画や総会の準備などを協議。

四月には総会を開催します。今年の総会は役員任期満了に伴い改選が行われます。名古屋板金連合会の役員は総会で会員の中から選出することが原則により決められています。基本的には支部長会で名古屋ブロック十支部の支部長の選挙により会長を選出します。立候補者がいない場合は会長の推薦により総会に諮る事となります。

日頃、組合行事の参加者はいつても役員や限られた少数の組合員ばかりです。総会には

多くの組合員の方に出席をお願いして頂き名古屋板金連合会の事業や梶板事業のあり方をお聞かせ願いたいと思えます。

景気は社会経済が低調安定で急速な上向きは考えられない、現状でどのように利益を追求していくか。住宅着工戸数や企業の設備投資も低調であるのに対して自分の事業所をどのように工務店や顧客に売り込んでいくか、また高齢化による作業上の安全性など板金業の先行きをみんなで考え勉強していきたいと思えます。今後とも組合事業にご協力と活発なご意見を頂きますようお願いして新年の挨拶とさせていただきます。

尾張板金連合会

会長 細野 清

新年明けましておめでとうございます。二十一世紀の輝かしい新年をお迎えになられた事と、お慶び申し上げます。

経済報告には、「家計部門の改善が遅れるなど厳しい状況をなお脱しておらず」と有り今年こそ、大なる明るい兆しを願うばかりです。
昨年十月一日に、自然エネ

ルギー「太陽光発電」の取付工事に取組むべき、システム講習を、愛知県中小企業センターにて開催され、尾張板金連合会関係から三十六名の、受講者が有り関心の高さを感しました。又今年には、工事・見積り当に関する講習会が予定されていますので、引き続き受講される様、お願い申し上げます。

り、昨年は台風二号が千葉県銚子沖をかすめるなど、関東に接近し、南西諸島付近を通ったりしたが、上陸しなかった。「たまたま上陸しなかっただけで、異常ではない」との事だそうです。

西三板金連合会

会長 毛利 貞夫

新年あけましておめでとうございます。本年がよい年になりますよう願ってやみません。

私たちが板金業界を取り巻く情勢は、以前と比べて、先行き不透明で、深刻な現状が続いていると思えます。

政界の混沌は、言うに及ばず、経済界では大型デパートの部分的閉店、大手生命保険会社の統廃合、建設業界も大手ゼネコンが政府より資金援助を受け、そのうえ、企業を縮小するような事態、特に建設業界のビッグバンは今からだとはいわれています。

また三宅島の噴火により、全島民が避難勧告を受け、家族離ればなれの生活、県内西部を襲った集中豪雨により「激甚災害」と認定された事等、天も地も大荒れでした。いま大企業も中小零細企業

今年こそ良い年になる様願いたいものです。最後になりましたが、皆様方のご健康とご繁栄をお祈りして新年の挨拶とさせていただきます。

「生き残りをかけて」日夜頑張っています。そしてその真価が問われようとしています。そして、どの職種、企業にとっても、変化への積極的な対応が重要とされています。この変化に対し基本的には自助努力が必要とされ、特に新分野への開拓、いま私たちが取り組むつつある「太陽光発電システム」の事業拡大、リフォーム工事の積極的な取組など、いまはガマンをして、頑張る事が必要だと思えます。

西三板金連合会の第三十三回総会において、再度会長という重責を務めさせて頂く事になりました。任期中組合員の皆様のご指導ご協力を頂き、連合会の発展に頑張る覚悟です。よろしくお願い致します。

昨年の五月には「太陽光発

電システムについて知ろう」という勉強会を梶板の共催を頂き、講師に埼玉梶板の副理事長の平野氏を講師にお願いをし、日新総合建材、ニッパソビネスサービスの商社も研修会に協力して頂きました。参加申し込みは九十四名でした。十一月の総会のもと特別企画として「経営首脳安全衛生セミナー」を労働省より指導員を委嘱されている坂氏に講演を依頼しそのあと「安全にたいする話合い」をグループに分かれて行いました。特に「ヘルメットはなぜかぶらないのか/かぶれないのか/」という点について話し合いました。組合員の安全に対する心得の重要性を再認識しました。

私が組合活動で常々思っている事は、梶板、連合会、支部、青年部等の行事にたいする気持ち、行動です。例えば関心の薄い行事でも「とにかく参加してやろう」という一人一人の協力の気持ちがないよりも大切であり組合の結束と発展は、すべての行事に率先して参加して頂く事だと思えます。
年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



岡崎技術工学院

理事長 山本 清

二〇〇〇年、ミレニアム、そして「IT」で明け暮れた平成十二年。めざましい発展と激動の足跡を残して二十世紀は次への大きな期待と夢をバトンに託しリレーをして行きました。

明けましてお目出度うございます。希望にみちた新世紀はじめの年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私も岡崎技術工学院も、お陰様できびしい環境の中に満足の出来る成果をあげ新年度に向け事業を進めているところでありますが、とりわけ例年を大きく上廻る新入生を迎えることが出来ましたことは、各企業が新規雇用を掌控する昨今、諸事情を鑑みる時、お支えいただく事業主各位のご努力の賜ものと改めて感謝申し上げます。

十一月は技能尊重月間、技能に関する催の多い中、目にし耳にしたことを思いつくまま羅列させて戴き、甚だ恐縮ですがご挨拶とさせていただきます。技能五輪全国大会が埼玉県新都市の与野市に於いて九日から十二日迄の四日間、スーパーアリーナを中心に開催され、石工五名、建築大工二名

の選手を引率し他の指導員と共に参加を致しました。会場のアリーナは現代科学と技術の粋を集めた構造物で唯々圧巻に尽きるしるものであった。巨大な会場のほば中心に九十名の建築大工が競う様は正に壮烈を極め、木造建築の健在を誇示するかの如く実に頼もしい限りであった。と同時にそこでは未来を担う若き技能者達の熱き戦いのドラマが展開された。十二日に成績発表があり、今秋韓国で行われる世界大会に出場する優勝者が選ばれ、四日間の幕を閉じた。

十四日、後楽園のドームホテルに於いて第二十一回全国技能士大会が開催されました。全体会議と四つの分科会及び講演会に依ってプログラムが構成され全国から多くの会員を集め成功裡に全日程を終えた。技能士の社会的地位の向上と技能尊重を掲げたこの大会決議等を通しての雑感として熾烈な世界経済の争いの中にあつて優位を保ち課せられた国際社会に於ける役割を果たしてゆく我が国が今日の経済と技術革新の基盤をなしたの

は、技能立国であること、そしてその根源は熟練技能とそ

の継承によって培われたものに他ならない。先に制定された「ものづくり基盤技術振興基本法」に基づく「ものづくり基盤技術基本計画」が策定されるなど、総理大臣主催による「ものづくり懇親会」から種々なものづくりに関する提言がなされ、また「ものづくり教育、学習」についてもトライアルが実施されており、次世代を担う若者に対する施策が進められている。

また「ものづくり大学」についても十三年開校を目指し準備が進められており、特に産

愛知県板金総合職業訓練協会

会長 羽柴 弘 和

西暦二〇〇一年の新春、明けましておめでとうございませす。

昨年も訓練事業に対して多大な御理解を得ての御協力を賜りありがとうございました。今年も今までと同様にお力添え下さるよう宜しくお願いします。

さて、先日情報誌で「経営と人生を考える」と言う書物を読んでいましたら、大変参考になった事があったので、少し記したいと思えます。

今日世の中、科学技術の急速な発展によって、地球上の

学協同への参画、の理念に基づき産業界より大幅な講師の起用、年令を問わない学生の募集、更に単位の期間等取得に緩和などユニークさの中に新鮮さと二十一世紀型とも言える意義を醸し出して魅力的だ。おりしも全板連基幹技能との関わりにも大いに興味のあるところ、新時代に相応しい機構の誕生を期待したいところです。

結びになりましたがこの一年が、皆様にとって恵み多き年でありませす様、お祈り申し上げます。

人類は宇宙に飛び出したり、生物の遺伝子創作をも可能になりました。他の生物と比べると人類は最も進歩した知識や技能・技術を持っていきます。しかし広大な宇宙から地球を眺めれば、人の存在等はきわめて微小であり、よって未だに自然界の支配を免れる事はできません。例えば昨年、東海地区を襲った集中豪雨等、身近な出来事です。私共はつい平和に生活していると、自然環境に依存している事を、つい忘れてしまっています。天災を

思うと、私共は自然環境に依存している事を改めて認識する必要があります。

「誠は天の道なり、これを誠にするは、人の道なり」と言う言葉があり、人間が知ろうと知るまいとにかかわらず、調和を導く「天一」つまり自然の法則をまず深く知り、それに従って生きることが人の道であると示されています。人類も企業も個人も、自然の法則に従って初めて生き延びられると言われています。例えば、一時的に株や競馬で百万円儲けた場合、次に同じ額を儲けても以前と同じ満足を得られません。知らず知らずに刺激がさらに刺激を求めて行き、果ては自己の力を見失ってしまう、正に実業家がバブ

組合事業に御協力を

専務理事 吉田 政 次

明けましておめでとうございませす。二十一世紀初のお正月を御家族お揃いでめでたくお迎えになられたことと心よりお喜び申し上げます。

昨年は組合事業の運営にご協力を賜り、誠に有り難う御座いました。本年も昨年以上のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年あたりから景気が上向いて来ているといわれ

ルの泡となった事と同じである様です。私共も急成長させるより、まず基礎を固め、パランスのとれた堅実な成長の方が、長い繁栄をもたらす様です。

さて今年一月二十一日(日)に開催する、新春セミナーには、講師には元名古屋科学館天文主幹で、著述、講演、大学講師等で活躍中の山田卓先生をお願いして、テーマは「私の中の宇宙、宇宙の中の私」と題して話があります。私共の生き方を観点を変えて見るのも大変勉強になると思えます。又講演で忙しい佐藤澄男先生の経済の話もあります。どうか家族お揃いでの御出席をお待ちします。

昨年も生命保険会社が倒産しましたが、大型倒産がまだまだこれから出てくること予測され、正念場はこれからであると思えます。建物の構造や建材の変遷によって、建築業界の中でも、左官、大工の仕事が大幅に減

6頁より

少していると言われています。幸いにして、板金業ではアーキ溶接や玉掛けその他の資格を持っておられ、建材も金属は勿論、窯業系材料、プラスチックその他全てに対応できる技術を持っておられるので仕事の巾はかなり広げることができると安心しております。

全板連では、板金業の仕事の間口を広げるため、リフォームや太陽光発電の取り付けを板金業の仕事にしようと力を入れています。

県板においても、リフォーム

ム事業については、経営研究

委員会での取り組みについて検討中です。またソーラーについては、昨年、西三板金連合会が口火を切って講習会を開かれました。県板でも同じ講習会を行い、ソーラーの概要についてはご理解していただいたものと思っています。いよいよ本年三月二十四・二十五日、四月七・八日に本格的な講習会を開催いたします。積極的に参加していただきたいと思っております。

一方、県板事業の柱であります保証事業も、皆さんの協力を得て、十二年四月以後の

申請件数は百件を越え、累計

では二百件を越えました。現在全板連の中でも申請件数の多い県として注目されています。この数も、組合員数八百名余、保証看板店四五五店と言ふ数字からするとまだまだ低い数値であります。申請者数に至っては三十九名と少ない、広く普及しているとは言えない状況で、本年も頑張っ

二十一世紀は改革の年

厚生委員会 委員長 沼澤 啓 二

新年明けましたおめでとうございます。輝かしい平成十三年の新春を、御家族の皆様方と共に、最良の年をお迎えになられた事を、心からお慶び申し上げます。

ミニアム二〇〇〇年も瞬く間に去り、新たな世紀の幕開けとなり、二十一世紀に相応しく技術開発を最優先課題とし、創意工夫により目標を達成でき得るチャンスに挑戦。自分達の得意とする分野を更に活用し、希望に満ちた年にしたたいと願うものです。今年こそは技術の研磨に勤

題。先ずは、中小零細企業の救済はどうなっているのか、疑いたくなる。

更に、昨秋東海地方を襲った豪雨。被害に遇われた組合員の皆様方に心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早く復帰される事を念じてやみません。特に中小零細企業の方々は、復旧するのに生死を共に戦っている。早急な救援策を希望してやまない。

更に興信情報によると、建設業及びその他の産業を含め、倒産件数も異常な推移を示し、産業界を脅かしているのも現実である。他人事とは思えない、身に沁みる思いが募るのは、私だけではないと痛感してやまない。ニュース・報道などによる

と、景気の推移は緩やかに浮上していると政府は進言しているが、極めて厳しく不必要な公共工事は避けるべきだが、公共工事も特定業者に依存し、領域が侵害され、我々の業界には及ばず、圏外におきざり、傍観するのみ。全国でも指折りの技能者を抱える板金業、又、有数の組織と連携をもつ業界、何も出来ないのが不思議でならない。これらの現状を把握し、打破する方策は如何にと、昨年末開催された、建設産業専門団体協議会が主催。

「専門工事業イノベーション戦略」と題しての研修会に参

加する機会を得、大変有意義で奥の深さをしみじみ感じ得た。一説によると、新世紀は新たな戦略のもと、即ち、技術基盤を構築し、異業種JVC化などにも思考をこらし、多

様な建設生産の拡充を図り、

元請方式を採用。管理システムの形成と強化を併せ、経営力革新・施工力革新の強化のもと、エンドユーザである一般需要者のニーズに応える活力と、創造力を有する専門工事業者への、転換が必要となる時代が到来したのではないか？ それには、組合員全体の団結が必要となり、尚且つ、一人一人が相互理解のもと、環境改善を図り、親しまれる組合活動の形成と、積極的に参加できる、雰囲気を含んだ考え、新しい感覚で自慢のできる組合でありたいと願うものです。

今年こそは更に、福祉活動並びに共同保証制度を充実させ、安全と健康に留意し、皆様方にとって最良の年であります事をお誓いし、新年のご挨拶といたします。

二十一世紀に思う

経営研究委員会 委員長 滝 伸 次

謹んで新年のお慶び申し上げます。二十一世紀の元旦をご家族様一同で無事にお迎えになりました事を心よりお慶び申し上げます。

さて時代は二十一世紀に入りました。二十一世紀はドックタイヤーの時代と言われています。驚異的なスピードで拡

張と浸透を続けるIT革命の波で象徴する。二十一世紀それは私たちに新しい時代の始まりと新しい価値観の誕生を告げている。

グローバルをキーワードにビジネスを始めとするあらゆる分野で国境が消え、妥協と階級制で固められた組織を、

オリジナリティあふれる個の力の台頭が打ち破ると思います。これまでの伝統的な価値観は、まさに一八〇度の大転換を迫られているのである。時代がはつきりと変わっている。そして、それにつれて人々の価値観が変わり、人々の物を見る目、物を感じる感性が大きく変わっていく。この新しい時代の価値観に向けて私達はとり残されないように頑張らなくてはならないと共に、板金業界にとって、かつてない真価を問われる二十一世紀だと思えます。二十一世紀に、ある有力住宅メーカーは、発売する住宅全部に太陽発電ソーラーを標準装備すると発表していますし、又アメリカはリフォーム事業を積極的に拡大すると言っています。リフォーム関連は全国で二十兆円の受注と言われています。私達は良く学んで、ソーラー発電、リフォーム事業をしっかりと地に足をつけて真剣に取り組まなくてはならない。これをクリアすれば明るい展望が必ず得られると思えます。組合員が、今迄以上に親密で仲良くスクラムを組んで二十一世紀を邁進しようではありませんか。今年が組合にとって輝かしい年になります事を心から御祈念申し上げます、私の新年の御挨拶とさせていただきます。

愛知県板金工業組合技能士会



会長 石原 鏡 司

新年明けましておめでとう
ございます。

皆様にはご家族一同お揃いで輝かしい二十一世紀を、大きな夢と希望をもって新春を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、板金技能士会の行事運営に對しまして、多大なご支援とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

又、技能委員会の皆様並びに各地区の技能士会の役員の方々には毎年の事ですが、三月末の申請書の取りまとめ、五月末からは実技の講習を、七月二十三日には実技試験のお手伝いをして頂き、九月に入るとすぐに学科試験の講習を行って頂くなど有り難う御座いました。

平成十二年度の技能検定試験の実技試験申請者数は内外装は、一級が三十一名、二級が二十五名で合計五十六名が実技試験に、又学科試験には三十名位が挑戦し、合格者数は内外装板金作業の一級、三十五名、二級、二十五名、総勢六十名の方達が新しく技能士の仲間入りを致しました。
この様な高い合格率を挙げることが出来たのも各支部の

技能士会役員熱心なご指導とご支援の賜と感謝致しております。

合格証の伝達式は昨年と同様県内合同で、十二月十七日(日)名古屋国際ホテルに於いてご来賓並びに愛知県板金役員各位をお迎えし、厳肅な内に執り行う事が出来ました事を紙面を借り厚く御礼申し上げます。

又、毎年晩秋の頃行われる

もう一つの行事が(社)愛知県技能士会連合会主催の「あいち技能プラザ二〇〇〇」が、名古屋市中企業振興会館1F吹上ホールで十一月十一・十二日の二日間開催され、今回は銅板の表札・ステンレスの鉢受け皿・レリーフの三種類のほかに、銅製の壺を作り、その壺の口と底の半田付け体験コーナーを行って見たら熱年の男性や女性の方までチャレンジされ、この様に大人から子供まで大勢の方達が物作りに参加され喜んで頂けました。昨年度も技能検定試験、技能プラザと、技能士会の役員の方々の並々ならぬご協力により、他の職種にひけを取らない程の大盛況の内に終わる事が出来たのも、役員一同のご協力のお陰と感謝致して

おります。

本年も昨年と同様、技能士会にご支援とご協力をお願い申し上げますとともに皆様方が健康で良い年で有りますことを祈念して新年のご挨拶と致します。

平成十二年度の三賞は、
一級

愛知県職業能力開発協会会長賞
長 井 弘 典

二十一世紀を迎えて

技術研究委員会 副委員長 青木 久治

すがすがしく希望に満ちた二十一世紀始めの新年を御家族お揃いでお迎える事とお慶び申し上げます。

さて日本経済は戦後の混乱をへてすばらしい発展を歩み続けてまいりました。しかし二十世紀の終り十年は、バブルの崩壊によって大量の不良債権が発生し、今後もしばらくは増え続けると言われております。公的資金の導入や補正予算による景気対策もその場しのぎの為財政赤字が増大し、国債、地方債を合わせるに六百四十五兆円にふくれあがってしまいました。財政赤字はGDP(五百兆円)の一・五倍迄が限界だと言われております。政府の景気対策も大変大事なことを思いますが、

愛知県技能士会連合会長賞

二 村 規 之
愛知県板金工業組合理事長賞

片 山 雅 博
二級

中 村 良 幸
愛知県職業能力開発協会会長賞

澤 田 雄 三
愛知県技能士会連合会長賞

望 月 厚
愛知県板金工業組合理事長賞

三年先、五年先の経済政策によるビジョンが示されないのは残念に思います。

一昨年の住宅着工戸数は一二一五万五千戸です。日本の住宅の間着工戸数は人口(一億二千五百万人)の百分一・二五万戸が標準で、バブル期は一・二％でありました。十年後には少子化により人口の〇・七％になると予測されております。これからはライフスタイルに合った建替えや、リフォームがさらに進み、そして専門業者の技能・技術・知識・営業力が要求されることは言うまでもないと思っております。

県板では十年以上前から進めている責任施工保証制度がようやく軌道に乗り、保証書

発行数は平成十年度は四十四件、一昨年度は五十一件、昨

年四月から十一月中旬迄に九十四件とすばらしい伸び率を示しております。組合員ならではのメリットです。まだまだ責任施工保証制度を一度も利用していない方は、小さな物件から申請して営業力を高め、事業の安定をはかっていたくださいと思います。そしてもう一つは、昨年屋根材型太陽光発電(ソーラ)の事業委員会が発足し、地球環境にやさ

頌 春

保証委員会 委員長 大友 堅 治

新年明けまして御目出度うございます。二十一世紀の輝かしい新年を御家族お揃いにて御迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は全板型保証事業に格別の御理解と御協力を頂き十一月十日現在一八九件の保証書発行実績になりました。これも諸先輩の長い間の御努力のお陰と深く感謝申し上げます。今後共今まで以上の御理解と御協力を宜しくお願い致します。建築業界では、住宅品質確保促進法が施工され、責任施工保証制度の必要性が益々増大するものと思われま

す。保証委員会において県板保証制度適用事業所並びに役

しいクリーンなエネルギーと汚染されていない美しい地球を後生に残していこうとする時代の流れと、国の積極的な施策・補助があり、メーカーサイドでの開発や商品化が進みました。本年三月、四月に講習会が開催されます。これに受講され資格を得て、事業発展の活路につながる事を願うものであります。
二〇〇一年が皆様にとりまして輝かしい幸せな年でありませう。御祈念申し上げます。

員各位に保証事業への御理解と御協力をお願いを今一度宜しく重ねてお願い致します。全板型保証制度が建設省関係各市町村官庁工事に取り入れてもらえる様にお願ひしている所であります。建築板金専門工事業界も二十一世紀に希望を持って社会的地位確立と適正利益確保を業界各位の努力に依って出来るものと思っております。
最後に、愛知県西部地方を襲った集中豪雨に依り被害を受けられた組合員様に心よりお見舞い申し上げますと共に、組合員各位の御健康と御多幸を御祈願申し上げて新年の挨拶といたします。

ITの時代

青年部 部長 岩崎 崇

新年明けましておめでと
うございます。

昨年中は青年部活動にご支
援ご協力していただきまして
誠にありがとうございます。

二十一世紀を無事に迎えるこ
とができましたのも皆様のご
協力の賜と感謝しております。

今年も昨年同様ご指導ご鞭撻
を賜ります様、よろしくお願
い申しあげます。

さて、二十一世紀の後半に生
まれた私ですが、世界では数
多くの出来事や技術の進歩が
ありました。その中でも特に
コンピュータの発達で便利で
快適な生活が出来るように

なった様に思えます。私も部
長になるのをきっかけにパソ
コンを使い始め、今では三台
に増え(二台は中古で購入)

中古といえども命令や記憶の
数値が小さいだけで普段使う
には充分です。三台が一本の
線でネットワークされ、どの
パソコンからでも一台のプリ
ンタで印刷できますしイン
ターネットも可能です。子供
たちも大学受験の為の資料集
めや宿題に興味と活用してい
て自分も仕事に青年部の資料
作り等でほとんど毎日画面を
眺めている様な状態です。先
日居間でテレビを見ていると

一匹のハエが飛んでいました。
捕まえ様と手を近づけると逃
げてしまい悔しい思いをしま
した。なぜだと思いいんター
ネットでハエと入力して検索
すればハエは物体を視覚で判
断しているわけではなく、か
すかな空気の動きで身の危険
を感じずるセキユリティで、
ほかにたくさんいます。こ
んな感じで簡単に調べる事が
出来ます世の中もIT時代と
いう事でこれからどう変わる
かが楽しみです、変えてい
くのも私たちではないでしょ
うか。

最後に業界、組合の発展と
皆様のご健康とご多幸を祈念
致しまして新年のご挨拶とさ
せていただきます。

期待と不安

広報委員 齊藤 孝行

激動の二十世紀も終り、二
十一世紀を迎えた。明治三十
四年より、平成十二年までの
一世紀は、まさに激動と呼ぶ
に相応しい時代であった。軍
国主義を捨て、民主主義に移
行し、めざましい発展を遂げ、
遂には民主主義も捨て個人主
義へと進化させた。黒船の来
航より、わずかに百四十七年の
ことである。

一九四八年、私は生を受け
た。その頃の日本は、まだま
だ貧しく、子供の時の思い出
は色あせ、セピア色となり、
今では想像すら出来ない様に
なってしまった。今、経済大
国といわれ、事実、私を含む
日本人の多くは、先進文化を
享受し、かつての暮らしを忘
れ、思い上り、金にもの言
わせ、世界から輿論をかっ

事もあった。だが、その時代
も過ぎ、経済大国とは名はか
りの、大不況国となった。倒
産、リストラは後を断たず、
生残りをかけた熾烈な戦いの
只中にある。この地方の基幹
産業である自動車関連の企業
も、海外に拠点を移す所も出
てきた。人件費の高騰により、
より安い経費を求めたこと
である。少し前、パプルの
頃は、海外より人材を求め、
不況となれば、それらの人々
を解雇、経営の健全化と言え
ば聞こえはいいが、生活の場

を失った人達は、一部ではあ
ろが犯罪に走る。麻薬、覚
醒剤等の密輸事件も、大きく
増えて来た。それらと比例す
る様に、各種犯罪も増加し、
世界一安全な国、と言われた
神話も過去のものとなりつつ
ある。加えて、この大不況の
状態さえも、多くの人々は
脅威に思っていないようだ。
正月、盆、ゴールデンウィー
ク等の家族揃っての海外旅行、
テーマパーク等の行楽、まだ
まだ平和である。しかし世界
に目を転じれば、今も何処か
で戦争をし、何処かで飢えの
為、多くの人達が亡くなって
いるのである。それも本来で
あるならば、夢と希望に溢れ
ているはずの子供達が多く犠

牲になるのである。又、洪水
早魃等の自然災害、これらの
事が、一刻も早く納まる事を
願わずにはいられない。

二十世紀初頭、欧米に追い
つけ、追い越せと必死の努力
をしてこられた先輩達、その
甲斐あって、やっと肩を並べ
られるところ迄きた。二十一
世紀になって、どれほどの発
展をするのか見当もつかない
が、我々が子供の頃に夢見た
鉄腕アトムが時代がくるのか
又、核戦争により、人類が滅
亡してしまうのか、二十世紀
から、二十一世紀の節目の時
代に生きる事ができ、その証
人として、一日一日を大切に、
そして、しっかりと見つめて
行きたいと思う。

21世紀に向けて

広報委員 大橋 政保

僕が小・中学校の頃の社会
科の教科書に書かれていた事
に石油、製鉄等の生産量や鉱
物資源の埋蔵量のほとんどの
分野が、ソ連とアメリカが一
位、二位の国であった。また
資源の豊かな北朝鮮の工業国、
南朝鮮の農業国、北朝鮮の方
が人口も多いと教わった。現
在は共産主義の衰退は著し
く、また現在の視点から見
ると、国力を比べる基準が陳腐

に見えて興味深い。
孔子の教えに、国家に武力
食料、信の中で信が一番大事
との話だが、一見、理想主義
精神主義の様に思えるがいく
ら食料があっても少数の人が
独占していれば多くの人が飢
餓になる。過去、現在に於い
て飢餓の原因は戦争、悪政の
問題である事が多い。孔子の
生きた春秋時代は戦乱の時代。
その事を孔子は実感したと想

う。
かつて文明の進んだ国は雪
の降る国と言われた。また四
大文明発祥地は川の流域にあ
り、水の恵みと氾濫による肥
沃の土。また氾濫に依る測量
の必要性。治水の為の組織力
の必要性。これらの地域の共
通点は努力をしなければ生き
てゆけない所であった。
豊かな国になろうとすれば
平和でなければならぬ。共
存共栄の精神が重要である。
大和朝廷が日本を統一したの
も武力だけでなく、大陸文化
の伝達力もあつた。ローマ
帝国が長く繁栄したのも、只
搾取しただけでなく、他民族
に対して寛容であった為と聞
いている。
21世紀に向けて、我国が繁
栄する為には、当たり前の事
だが戦争をしない事。しっか
りした体制で国民が勤勉で道
徳が通用する事が肝要である。
国が繁栄するかどうかは国民
の自覚・努力次第である。
個人的には将来性のあると
思う国や地域は、自由に世界
とつながる事の出来る海に接
している所。教育水準の高い
所。競争が激しいだろうと言
う事で人口密度の高い所。人々
の精神の健全性と言う事で何
か不安や苦しみ、緊張感を持
っている所。そういう基準で、
韓国・台湾・香港・シンガポ
ールの将来性を僕は注目してい
る。

祝

受賞おめでとう ございます

平成十二年度は、次の組合員の方々が表彰されましたので紹介いたします。組合員こそって祝福し、これからも益々活躍されます様祈念したいと存じます。

順不同・敬称略

通商産業省
生活産業局長表彰

日板協三十周年
記念関連功労者

村上 章
(千種支部)

愛知県知事表彰

優秀技能者

鷺見 収
(昭和支部)

全国中小企業団体
中央会長表彰

組合功労者

村上 章
(千種支部)

名古屋市長表彰

優秀技能者

澤田 隆一
(中村支部)

名古屋市長表彰

技能功労者

小原 寛治
(中川港支部)

谷倉 勝郎
(瑞穂支部)

松井 紹郎
(昭和支部)

見田 宥治
(中川港支部)

(社)愛知県技能士

連合会長表彰

会員功労者

野田 和彦
(知立支部)

山本 和義
(岡崎支部)

浅井 裕一
(中支部)

宇野 勝義
(岡崎支部)

全日本板金工業

組合連合会理事長表彰

組合功労者

赤池 高義
(豊田支部)

岩室 鏜
(刈谷支部)

津田 信定
(小牧支部)

鳥居 松男
(西尾支部)

湯浅 伸明
(一宮支部)

労働大臣

表彰

認定職業訓練功労者

長谷川 信俊
(中支部)

(愛知県板金総合職業
訓練協会推薦)

第33回 西三板金連合会総会

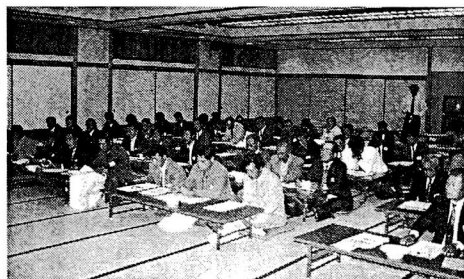
西三板金連合会 毛利貞夫
会長は、去る十一月七日(火)豊
田市加納町馬場通二一 猿
投温泉「ホテル金泉閣」にて
第33回総会を担当豊田支部で
開催しました。

当日は午後一時より受付一
時三十分よりご来賓に愛知県
板村上理事長・名古屋連合会
驚見会長・愛知県板金吉田事務
理事をお迎えして総会は開会
しました。豊田支部三浦誠治
氏の司会進行で、西保担当支
部長挨拶、毛利西三連合会会
長挨拶、村上愛知県板理事長
挨拶、驚見名古屋連合会会長
挨拶と次第は進みました。議
長に高橋銀吾氏を選出し議案
審議に入り順調に進みました
が、このなかで西三板金連合

会が主催する各種講演会・講
習会について受益者負担の考
え方を取り入れ、受講料を徴
収して運営する形にする旨の
発表が毛利会長よりありまし
た。つきに、本年度は役員改
選の年にあたる為、議題の八
番の役員改選に於いて、岡崎
支部の石原氏を選考委員長に
各支部幹事さんを選考委員に
選出し、別室にて次期会長の
選考を行い毛利貞夫現会長を
再任し総会に報告しました。
最後に会計岩室氏より現在一
五、〇〇〇円にて運営してい
る総会費を一六、〇〇〇円に
値上げしたい旨発表がありま
したが、毛利会長より次期幹
事会にて協議するという発言
がありました。総会終了後、



▶ あいさつする毛利会長



▶ 総会風景

十分間コーヒータイムをとり
午後三時より特別企画、専門
工事業者安全管理活動促進事
業のなかより「経営首脳安全
衛生セミナー」を講師に坂長
助先生をお願いして実施しま
した。内容として、建設業に
おいて労働災害を起こした場
合の経営者として負うことと
なる責任について、講義を受
けた後参加者を一〇のグルー
プに分けて「なぜヘルメット
を使わないのか・使えないの
か」に絞って討議を行いました。
今回は時間の関係で各グル
ープ代表によるまとめの報
告は出来ませんでした。講
師の坂先生より指名を受けた
刈谷支部の岩室氏が発表され
ました。グループ毎の意見の
まとめは、書記の久世氏にお
願いする予定です。
天然ラドン岩風呂に入浴、
午後六時より豊田支部松井繁
氏を司会に懇親会となり、こ
れより参加された横山興業(株)
・(株)田中屋様・(株)コウトク
金属様・太田商事(株)様・豊田
職業訓練協会様を代表して横
山興業(株)横山社長が挨拶をさ
れました。顧問である西尾支
部 杉浦様の毛利会長をパツ
クアップして行く旨の乾杯の
ご発声があり、楽しい宴会は
進行して行きました。
尚、今回の参加人数は八一
名でした。

豊田 松井

21世紀の始まりに

広報委員 中西 利夫

新年あけまして おめでとうございませう。21世紀の始まりである2001年どんな一年となるのだろうか？

安定不況とも言うべき世間の状況は変らぬ様に思えます。個々の事業所の模索・努力が明確になり、生き残れる者として育つてゆくはずである。その事がはつきりする一年となる様な気がします。岡崎板

あいち2000 「技能プラザ」

～ 家族で楽しく技能士体験 ～

愛知県技能士会連合会主催「愛知技能プラザ2000」が11月11日(出)、12日(回)の両日、名古屋千種区「吹上ホール」で開催された。

この目的は熟練技能者の高齢化や少子化が進む中、職業観の変化による若者の技能離れが増大し、若い世代に「技能の大切さ」を伝え、新技術を支える技能者を育成することである。

参加団体は県内の技能士会を有する43企業団体で技能オリンピックや、競技大会の課題作品の展示や、体験コーナーを開設した。

金工業組合では、昨年二つの事業を組合として始めている。ひとつは仕事の確保と支援に関する仕事確保支援事業である。まだまだ動きとしては静かであるが、仕事のある無しは職人としての命綱、これから先組合としての大切な柱として育ててゆくはずである。もうひとつは材料在庫に関する情報網である。昨今、施工

この行事も年を重ねることに入場者も多くなり毎回楽しみにきてくれる常連客や、若い夫婦の家族や子供が多く将来の技能士で賑やかな2日間であった。 一宮 佐藤

二日間の入場者は3万2千人と主催者の発表がされた。愛知県板金工業組合は、体験コーナーに、銅板製の表札、レリーフ、水差し、ステンレス製の鉢受の制作を技能士会員及び技能委員が指導した。

この行事に至っては、委員会を開き検討し、作品の切断や折曲げ加工など難しい部分は前もって行い、当日、初心者でも完成出来るように準備した。また、表札の制作においては人名の下書きに毛筆の達人を2名、外部よりお願いした。

単価の下落により材料の無駄をなくす事が益々大切な事となっている。自社で余っている物を他店に、また必要な少量の材料を他店から採出す。チリも積もれば山となるので、組合員に大いに役立つはずである。

技能の実演&体験コーナー

- 四駆マル表札
- ミニゴジヤ
- 鳥かご
- 家紋
- 風ぐるみ
- 塗り絵
- ルビアル
- 飛行機
- グー
- レー
- ホリ
- 板口
- 銅板
- 小袋
- ミラ
- ゴフ
- 木製
- 和菓
- 野菜
- アル
- ワズ
- 入
- パズ
- 入
- 組
- 細
- 工
- タコ
- アレ
- ン
- ジ
- れ
- アル
- れ
- く
- り

奥三河の里

設楽の霊水

どこまでも真っ青に澄みきった晩秋の一日、二か月ぶりに「こだわりの水」を求めて奥三河・設楽の里を訪ねた。

設楽に近づくにつれ、杉や檜の美林の中に、赤や黄色の紅葉が名残をとどめ、山里に点在する民家の庭先には、真っ赤に熟した柿の実の見事な色合いが青空に溶け込んで素晴らしい山里の風景を創り出している。通いなれた道でも四季それぞれ自然の姿が見られるのは楽しい事である。

今回は昨年八月号に掲載した「こだわりの自然水」の話を読まれた何人もの方々から早く場所を教えてくださいとの要望にお答えしたいと思う。

私が愛飲する北設楽郡設楽町三都橋の水場へ行くには、足助、岡崎、新城からの三通りがある。岡崎からが一番近いと思うが山道で分かりづらいから今回は省くことにする。

①新城経由。東名高速・豊川ICから一五一号線を新城方面へ向かい新城市のバイパスを経て「八束穂」の交差点を直進すると間もなく「大海」の交差点に来る(豊川ICより約二十km)大海信号を左折して二五七号線に入り「長楽」の交差点を左方向へ走行する。大海を越えた辺りから寒狭川と平行して走る。景色も次々

と変化して快適なドライブが楽しめるが所々に狭い道路や曲りくねった道が多いから安全運転第一を心掛けたい。

途中左側の「廣見ヤナ」を過ると、豊川ICより約四十kmで大輪橋の分岐点に来る。右手方向は「田峰・稲武」へここを左折して間もなく「三都橋」の三叉路を裏谷方向へ右折、約三km位で目的地「新羅の霊水」に到着。②足助方面からは足助町役場前を通過して稲武方向へ約一km位の所から斜め右に入り一の谷を経て後は一本道を一時間少々で三都橋の三叉路に着く。ここを左折すれば目的地である。

三都橋の三叉路を右折(足助方面からは左折)した直ぐ左側に「赤沢弁財天の霊水」があるがここは通過した方がいい(オヤジの性格が悪い)上り坂を暫く行くと、二の谷薬師を祭った「摩尼の霊水」がある。水場では元祖といわれファンも多いが三〇〇m余りを一輪車で運び出すのが難点。次は左側に「上山霊水」があるがここは最近始めたばかり。そして私が長年通い続ける「新羅の霊水」はいちばん高い所に有る水場でも有るし何より車着きがいい。

水掛不動尊を祭り水場を守る福岡老夫婦が年中無休、笑顔で出迎えてくれる。ちなみに水代は二十円ポリタン一本に付一五〇円を水掛不動尊に志納金として上げる。この水場でもほぼ同じ。冬場は道路の凍結が心配だから春になったら行楽方々一度お出掛けを勧めたい。次は大輪橋の分岐点を稲武方面に直進約五kmで国道から山道を上り「高勝寺田峰観音」の広い駐車場に入る。本堂に続く階段の横に「田峰田楽伝承の里・祭破の水」がある。いつも水を汲む人の絶間がない。また田峰特産物直売所もあり山里の味覚五平餅が美味。近くには再建された「田峰城」がある。

東三支部・新城の馬場さんが手掛けた銅屋根は見事な仕上り。名人の仕事を見てもうらいたい。春は山桜が咲き豊かな新緑は山里を堪能させてくれる。続きは次回に。(s)



田峰城の銅屋根

全板国保愛知県支部 愛知県板金工業組合

ボーリング大会

平成十三年十一月十一日(土)

全国板金業国民健康保険組合(全板国保)愛知県支部(愛知県板金工業組合内)と愛知県板金工業組合(愛知県板)では組合員と家族及び従業員の健康増進と親睦を深めるために今年もボーリング大会を開催した。

昨年は、尾張ブロック設備で行ったが今年は名古屋ブロックが受け持つこととなった。昭和区高辻のシャンピアホールに県内各地から百名が参加して村上理事長の始球式で午後六時からゲームが開始された。

共催

奥様の参加も多く日頃包丁やはさみを持つ手を重いボーリングのボールに持ち替えてあちこちで歓声が上がっていた。

女性の参加は八名と子供さんは六名で六十歳以上の組合員と女性や子供さんにはハンディキャップをあたえられた。優勝 鈴木章太郎君 訓練協会 二位 恩田義則君 瑞穂支部 三位 内藤孝一君 中支部 レディース優勝 野田澄枝様 ホタル賞 後藤知恵様 賞品は飛び賞も含めて三十二名に授与参加者全員に参加賞が渡された。

報告 鷺見



▶ あいさつする
村上理事長



▶ 歓声を上げる
参加者

11月各支部の動き

名古屋板金連合会

11日 全板国保ボーリング大会開催担当 100名

24日 役員反省会 13名

昭和支部

8日 定例会 12名

- ・ボーリング大会
- ・豪雨被災者義援金
- ・大腸ガン検査
- ・ソーラー実用講習会の件

西支部
7日 支部会 8名

- ・ボーリング大会
- ・豪雨被災状況・義援金募集
- ・13年度全板大会
- ・太陽光発電実用講習会案内

熱田南支部
18日 定例会

11日 ボーリング参加9名

一宮支部
20日 青年部ソーラーシステム講習会

津島支部
5日 定例会 12名

江南支部
16日 月例会 6名

千代田火災自動車保険のPR

西春支部
16日 例会 18名

- ・次年度の事業計画と行事予定

西三板金連合会
7日 総会

岡崎支部
3日 役員会 23名

- ・技能ブラザ
- ・西三連合会総会
- ・板金工事保証制度利用について
- ・不要在庫一掃制度
- ・ソーラー講習案内
- ・全板国保と国保の比較

5日より青年部技能競技大会講習

碧南支部
23日 役員会及び慰労会

- ・今年度行事報告
- ・義援金額決定
- ・神戸全板大会参加決定
- ・技能検定結果報告

豊田支部
4日 第7回役員・班長会

7日 西三連合会総会担当

29日 次年度以降の組合の構想について

西尾支部
9日 役員会 16名

・在庫管理について

16日 青年部定例会 17名

知多支部
8日 第3回支部役員会 15名

25日 支部青年部忘年会 26名

東三支部
2日 定例会 25名

9日 東板会ゴルフ大会 16名

17日 役員会 9名

27日 三役会 6名

明けまして
お目出度
御座います

二十一世紀の初頭に記念号をお届け出来ますこと広報委員一同光栄に存じます。

記念号には多くの方々から新世紀にかける決意と夢と希望を投稿して頂きました。

一向に先行きの明るさが見えて来ない中で、板金業界挙げて取り組む重点事業と業界の活性化に役立てられるようになって情報の提供をしてまいります。明るい話題が一杯の一年であることを期待して頑張りましょう。

- 知多 斎藤 充昭
- 昭和 鷺見 收
- 知多 沼沢 啓二
- 一宮 佐藤 忠雄
- 碧南 高橋 銀吾
- 東三 吉田 万作
- 豊田 松井 祐治
- 熱田南 伊藤 公一
- 岡崎 中西 利夫
- 西尾 大橋 政保
- 知立 斎藤 孝行
- 津島 猪飼 直樹
- 江南 松永 勝康
- 刈谷 岩室 鏞
- 西春 中村 光子
- 事務局 北出 明治
- 広報委員会